

ふるさと  
よもぎま  
「加茂の百年企業」  
その9



本町で文房具店を営んでおります。伊能忠敬が中心となり大日本沿海興地全図が完成した翌年、文政5年（1822年）に創業しました。藤岡堂という名称は江戸時代の事で定かではありませんが、「旅のお坊さんが付けてくれた名前」と代々言い伝えられています。戦前は筆の製造販

売をおこなっており支店や分店もありました。戦後、筆の製造を辞め文具の商売（小売業）に舵を切りました。

ちなみに日本での筆記具の世の中の流れとしては、明治20年、日本製の鉛筆の製造が始まり一般に普及しだしたのが明治の終わりから大正にかけてだそうです。そして戦後、毛筆は

(株)藤岡堂 斎藤 靖也

一般筆記具としての役目を終えます。

今の商店街には約1kmにも及ぶキレイなアーケードがあります。私が子どもの頃には雁木（ガンギ）がありました。春から夏にかけて軒下には、あちらこちらでツバメが巣を作り、にぎやかでした。懐かしく暖かく活気があった昔の雁木です！時代の流れとともに



少し寂しい今のアーケードですが、長く商売を続けてこられたのも地域の皆さんのおかげです。ありがとうございます。 「信用・誠実」をモットーに注文いただいた商品は迅速な配達を心掛けています。お客様や子ども達のお顔を見ると嬉しくなります。今後ともよろしくお願いたします。



藤岡堂 加茂市本町3-12 Tel.(0256)52-0805

いいとものわ

市内事業所の個性豊かな社長さんや店長さんなどの意外な交友関係をご紹介します。いつかあなたにも繋がるかも？

いいともバトン：No.40 登場の牛腸和行さん ▶ 相田夕子さん



左/相田夕子さん(♥歳) 右/村上 泉さん(♥歳)

### いいとも No.41

「マカロニチップスの店ばすたますた」(穀町) 相田夕子さんの「とものわ」は加茂穀町商店街振興組合事務局の村上泉さんです。ともに下条小学校の出身だとお聞きし何十年來のお付き合いと思いきや、相田さんが6年生で転校してから30年の空白があったとか。9年前に村上さんが穀町商店街にお勤めし「もしかして…夕子ちゃん?」「…いずみちゃん?」と再会を果たしたそうです。お互いが元気のもと、『わが心の友よ!』というくらい感覚が一緒、自然体でいられる間柄(どっちがジャイアンなのか、のび太なのかは見る人が決めて~とのこと)。明るくポジティブな生き方に20歳代のお嬢さんが「二人を見ていると年を取るのも悪くないって思う!」と言うのも納得ですね。とっても元気な穀町小町のお二人でした!